

平成２７年度 長崎県立諫早東特別支援学校評価（自己評価）集計

学校教育目標		児童生徒一人一人に応じたきめ細かな教育を行い、可能な限り自らの持っている力を高めることで、自立や社会参加のための基本的な力を培い、主体的な取組ができる、明るく、強く、たくましく生きることのできる人間育成をめざす。							
学校経営方針		①個々の特性に応じた教育課程を編成し、各部や各課程間の共通理解を深め一貫した教育に努める。 ②家庭やこども医療福祉センターとの連携を深め、指導の充実に努める。 ③児童生徒がのびのびと安全に活動できる施設設備の充実や、教育環境づくりの推進に努める。 ④交流教育や地域社会との交流を推進し、好ましい人間関係を育て、社会性を深めるとともに、本校児童生徒対する理解啓発を促進する。 ⑤教職員の研修を推進し、教師としての資質と専門的な知識・技能を高め、指導力の向上を図る。 ⑥積極的に情報発信に努め、開かれた学校を目指す。 ⑦専門性を生かした教育相談などを通して、地域における障害のある児童生徒等の教育のセンター的機能を果たす。 ⑧人権・平和教育の推進に努め、豊かな心と自ら学ぶ力を育てる。							
前年度自己評価結果		本年度の重点努力目標							
○ 評価が高かった項目 ・ 個別の教育支援計画の活用による保護者、センター及び関係機関との連携 ● 評価が低かった項目 ・ 個別の指導計画の活用や様式見直し ・ 情報教育機器の活用		①児童生徒一人一人のニーズに応じた指導の充実及び授業改善に努める。 ②個別の指導計画の適切な目標設定と評価により、個々の児童生徒の指導の充実に努める。 ③読書活動やあいさつ運動などを通して豊かな心を養うとともに、考える力、人と関わる力、思いや考えを伝える力を育てる教育に努める。 ④小学部・中学部を見通した一貫したキャリア教育を推進し、個々の児童生徒のキャリア発達を支援する。 ⑤「個別の教育支援計画」の積極的活用により、保護者、こども医療福祉センター及びその他の関係機関と連携を図 ⑥校内の安全点検及び指導上の安全配慮を徹底し、児童生徒の事故の未然防止に努める。 ⑦こども医療福祉センターと連携して自立活動の充実に努める。 ⑧肢体不自由教育及び病弱教育の研修を計画的に行い、指導の充実に努める。 ⑨定期的な学校ホームページの更新や学校評価等の公開により、開かれた学校づくりに努める。 ⑩ＩＣＴの活用による授業改善を図るとともに、機器操作や情報活用能力及び情報モラルの育成に努める。 ⑪教職員が心身ともに健康で、児童生徒と向き合う教育環境づくりを推進する。 ⑫長崎県肢体不自由教育研究協議会事務局校として円滑な会の運営を図る。							
4：十分達成している		3：おおむね達成している		2：どちらかという達成されていない		1：ほとんど達成されていない			
評価項目	具体項目	目 標	評 価 (34/35人)						
			4	3	2	1	H 2 7		
学校経営	教育目標の具現化	教育目標は学校の実態やニーズに合った内容であり、具現化が図られているか。	5	29			3.1		
	経営方針の明確化と実践	経営方針は校内外に明確に示され、職員、保護者の相互理解のもと教育活動が行われているか。	6	26	2		3.1		
	学級目標の具現化	学級の実態に即した目標を設定し、学級経営を行っているか。	7	26			3.2		
	教育課程の編成	学習指導要領に基づき、児童生徒のニーズに合った特色ある教育課程が編成されているか。	7	22	5		3.1		
	研究授業の実施	各学部で1回以上の研究授業及び授業研究会、または事例研究会を行い、研鑽を深めることができているか。	14	17	3		3.3		
	教科等の指導	学部会等を利用して、一人一人の学習状況や学校生活について教師間で必要な情報を確認、共有し、共通理解した上で指導ができているか。	16	17	1		3.4		
		日々の授業において指導の目標及び内容を設定し実践するとともに授業後の振り返りを行い、P D C Aサイクルにより授業の改善ができているか。	1	30	3		2.9		

教育活動

	個別の指導計画を活用した授業を推進し、児童生徒一人一人の障害や発達の状態に応じた教材の開発と活用の工夫ができているか。	3	24	7		2.8		
自立活動	児童生徒の実態や発達課題に応じた目標設定や授業が展開されているか。	5	27	2		3.1		
	児童生徒が主体的に授業に取り組むための教材教具を工夫したり活用したりしているか。	6	24	4		3.1		
	TOPSで得た助言などを自立活動及び学習活動の指導全般に活かしているか。	14	18	2		3.4		
特別活動	読書活動を充実させるための取り組みがなされているか。	11	20	3		3.2		
	児童生徒の実態に即した行事や集会活動を計画し、主体的な取り組みができるよう内容を工夫しているか。	6	27	1		3.1		
道徳	時間の指導や教育活動全体を通して豊かな人間性を培う指導がなされているか。	5	26	3		3.1		
人権教育	子どもの特性をよく理解し、子どもの人権を大切にした指導をしているか。	10	21	3		3.2		
生徒指導	進んであいさつをする指導がきちんとできているか。	9	19	6		3.1		
	言葉遣いや返事の指導がきちんとできているか。	8	21	5		3.1		
	思いや考えを伝えるための工夫した指導ができているか。	4	28	2		3.1		
	みんなと協力してともに伸びていく子どもたちの育成に努めているか。	7	23	4		3.1		
	いじめの実態把握や早期発見に努め、学校全体で組織的に対応しているか。	11	22			3.3		
キャリア教育	キャリア教育を意識した指導に取り組んでいるか。	6	23	5		3		
	児童生徒や学校の実態に合わせて、計画的に進路指導が行われているか。	8	25	1		3.2		
安全教育	緊急時の対応マニュアルを全職員で共通理解し、緊急時を想定した訓練等が実施されているか。	7	25	2		3.1		
	校内安全集会を実施するなど児童生徒の安全に対する意識を高めるための指導ができているか。	10	23	1		3.3		
情報教育	情報機器活用に関する職員に対しての研修会の計画・実施が充分か。	7	22	4		3.1		
	児童生徒の学習意欲を高めるために、情報機器を用いた授業に取り組んでいるか。	4	23	7		2.9		
	授業で情報機器を活用しているか。	5	18	11		2.8		
個別の教育支援計画の活用	様式は、児童生徒や学校の実態にあっているか。	1	15	16	2	2.4		
	作成から評価までPDCAサイクルに沿った運用や活用が行われているか。	2	16	14	1	2.5		

		保護者の理解のもと、関係機関との連携において十分活用されているか。	3	14	15	1	2.6		
		様式や運用について、組織的に検討、改善されているか。	3	17	12	1	2.6		
組織運営	校務分掌	学校の実態に合った組織が編成され、各職員の仕事分担は明確か。	8	23	2		3.2		
	各種委員会	学校の諸課題に対応した検討を行い、学校運営や教育活動に反映されているか。	5	28	1		3.1		
	校内研修	研究テーマに沿った校内研究は計画的にできているか。	10	23	1		3.3		
	現職教育	教職員が共に高め合う研修を推進するために意見交換はよくできているか。	6	22	6		3		
		職員はお互いの気持ちを大切に、意見交換、協力体制ができているか。	5	23	5		3		
		子どもとじっくり向き合う時間がとれているか。	6	21	7		3		
教育環境	環境美化	校舎内外の環境美化をめざし、定期的に職員作業が実施されているか。	14	18	1		3.4		
	安全点検の実施	安全に配慮した環境作りをめざし、校内安全点検を毎月実施し、補修は速やかに対処されているか。	14	19	1		3.4		
	情報環境の整備	定期的にホームページの更新がされているか。	13	20	1		3.4		
開かれた学校づくり	保護者との連携	保護者に対する情報提供や面談等は適切に行われているか。	13	20	1		3.4		
		保護者が「個別の教育支援計画」を支援ツールとして活用するために、「個別の教育支援計画」の作成及び活用の意図及び目的を十分説明しているか。	6	19	8		2.9		
		「個別の教育支援計画」を支援ツールとして活用するために、年3回の授業参観ウィークや必要に応じて保護者と適宜面談を行い、目標やニーズを共有しているか。	10	20	3		3.2		
		「個別の教育支援計画」及び「個別の指導計画」に基づいて日々の授業を行い、担任と保護者が一緒に評価を行うことで共通理解ができているか。	8	18	7		3		
		保護者や地域に情報発信が十分できているか。	6	22	5		3		
		学校の行事等に保護者や地域の方が参加しやすい工夫がされているか。	6	26	2		3.1		
	こども医療福祉センターとの連携	センター学校連絡会、整形カンファレンス、小児カンファレンス等により必要な情報を共有し、一人一人のニーズに応じた教育ができているか。	8	17	9		3		
		センターや保護者と連携をとりながら、児童生徒の心理状態や健康状態を把握した上で日常的に指導を行っているか。	6	21	7		3		

		連携シートを活用するなどして、自立活動における評価や課題を療法士と共有し、継続した指導ができているか。	8	17	8	3		
	小中学校（前籍校）との連携	小中学校とのケース会議等をととして児童生徒に関する情報交換や引き継ぎが十分できているか。	6	25	3	3.1		
		転出及び卒業した児童生徒の支援や情報提供ができているか。	5	20	9	2.9		